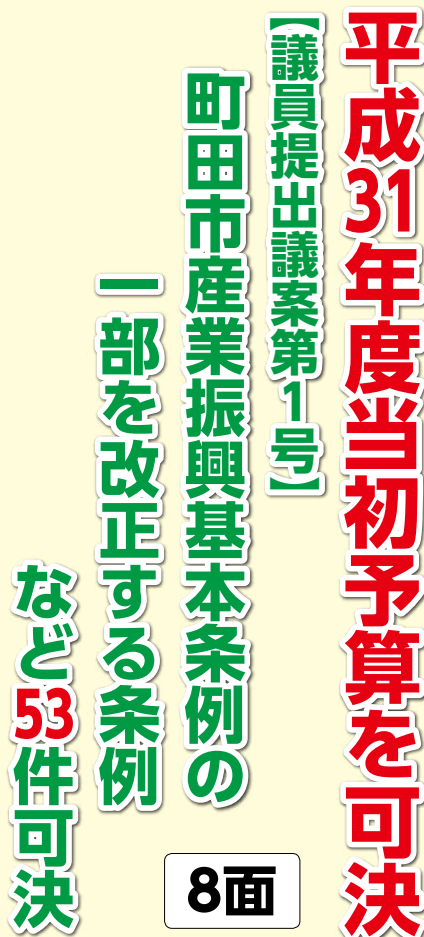


平成31年（2019年）
第1回定例会
2月20日～3月28日

スマートフォン用
QRコード



・ 芹ヶ谷公園芸術の杜：（仮称）国際工芸美術館整備事業については、芹ヶ谷公園と（仮称）国際工芸美術館を一体的な整備、中心市街地との連携、子どもと体験の視点の取り入れ、官民連携手法の検討など、市内外からの来訪者の増加や効果的な事業の推進が期待されるが、未だ、不明瞭な点が多く、今後の進捗の中で具体像を明らかにし、将来負担を増やさぬよう、費用対効果を事前に分析し公表するなどして、広範に市民の理解を得ていく必要がある。これらを踏まえた上で、芹ヶ谷公園芸術の杜：（仮称）国際工芸美術館整備事業関連予算の執行にあたり、以下の点について情報提供の徹底と逐次報告を求める。

- ・ 芹ヶ谷公園と（仮称）国際工芸美術館の一体的な整備における検討状況
- ・ ネーミングを含めた（仮称）国際工芸美術館基本設計見直しにおける具体的な内容
- ・ 子どもと体験という視点の取り組み
- ・ 教育との連携
- ・ アウトリーチによる作品展示と学芸員活用の具体的なスケジュール
- ・ 民間資金、民間活力の導入
- ・ 国、東京都、関係団体等の補助の探求と予算総額の圧縮